

\*\*\*\*\*

# 静内ケアセンターだより 10月5日号

\*\*\*\*\* 文責・下川孝志

## 「要介護1・2を外すのは検討中です」

昨日の衆院予算委員会の民進党・初鹿明博氏の質問「要支援を介護保険制度から外し、さらに要介護1・2を外そうとしている、そうなれば誰が介護するのですか？介護離職ゼロの逆じゃないか」に「まだ検討中で結論ではない」との答弁だった。初鹿議員の質問はまさに現場の声であった。審議会で審議されているが「要介護1・2を外す方向」に思えてならない。」安倍首相さんは「特養も要介護1・2の人も入れる」と答弁したが、どこの市町村の特養も待機者の山。要介護1・2を入居させる状況に無い

「介護保険料金を払ってきて、いざ利用しようとしたら使うサービスメニューが無くなった」では詐欺みたいなものである。

→ 新オレンジプランでは、認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指すとある。必要な介護サービスの確保であって自宅でもグループホームでも同様である。要介護1・2を外すとか貧乏人はサービスを受けられないとはなっていない。地域包括ケアシステムの推進であり、保険者機能の強化は当然である。

\*\*\*\*\*

## これも地域包括ケアだ！

「栗ちゃんの家」Aさんの体調が悪い。「かかりつけ医」の山田クリニックへ急搬送することに、あれ？DSに来ているBさんも車に乗り込む。まあいい徘徊におつきあい。Aさんが以前かかっていた医師のいる町立病院に入院となる。Aさんの部屋には、支援ハウスでの暮らしが難しくなっていたCさんがショートステイで入居となる。Bさんドライブしてる内に安定した。これもホームの1日。

\*\*\*\*\*

## 支援ハウスの赤字部門の整理へ

グループホームがその持つ機能を地域に活かす視点からの地域サポートとして支援ハウスや在宅支援を行ってきたが、介護報酬の削減から本体が赤字となり、地域支援が厳しくなった。赤字部門の改善に取り組むことにした。食事づくりが出来なくなれば「配食」の利用も選択肢である。長期入院者については退去の選択も視野に入れる。

冷凍庫が貯蔵庫になることがある。冷凍庫の整理でと、タコ・サンマ・餅、ブリをたくさん頂いた。各ホーム・事業所に配る。こういうのは大歓迎なのです。なにせ1日100人以上の食糧(食事)ですからね・・・今夜は、タコ刺身にタコシャブですかね・・・感謝。

\*\*\*\*\*

